

### 議題3 第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について

#### 1 総括

令和4年度は、日常生活における新型コロナウイルス感染症による行動制限が残っていたものの、まん延防止等重点措置も解除され、マスク着用ルールの緩和など、制限に緩和の兆しが見られた。

このような状況下において、子どもの読書活動に関する各事業は、定員の見直しや実施方法の工夫等によって、おおむね予定どおりの内容で実施できたことにより、行事への参加者数も回復が見られるなど、次のような成果を得た。

#### 2 基本目標Ⅰ（家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進）について

市図書館においては、読み聞かせ会、団体貸出、読書週間イベント、読書感想文・感想画コンクールなどの事業を実施し、参加者である子どもやその保護者に読書の楽しさを伝え、読書機会を確保し、読書を促した。一方、幼稚園・保育園・こども園では日々の絵本の読み聞かせで、小中学校では一斉朝読書や調べ学習などで、社会生活の一部に読書の時間を取り入れることで、子どもたちの読書習慣を形成し、読書意欲を引き出せるよう努めた。

これらの事業をとおして、子どもが自ら図書館に足を運び、本を手にするような、読書啓発に一定の成果を得たと考えられる。

#### 3 基本目標Ⅱ（市図書館などの読書環境の整備・充実）について

市図書館においては、計画的な図書等の購入を進め、ホームページや定期刊行物での情報発信、夏休み期間の月曜日開館、ティーンズコーナーの設置などの図書館サービスの提供を継続した。また、小中学校においては、教員やボランティアだけでなく児童・生徒自身も魅力的な学校図書館づくりの一員に含め、多読賞の実施、必読書・推薦図書の選定など学校での読書環境の向上を目指した。

これらの事業をとおして、子どもが読書を思い立った時に、多くの本の中から夢中になれる1冊を選ぶことができるように、読書環境の整備・充実を図った。

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
1 家庭 にお ける 読 書 活 動 の 推 進	(1)	乳幼児期からの家庭での読書活動の支援	ブックスタート事業	4か月児健康診査時に、赤ちゃんと保護者に、読み聞かせを実施し、絵本等の入ったブックスタートバックを手渡す。	実施回数：60回 参加組数：2,133組 ※絵本の手渡しのみ（読み聞かせなし）	・赤ちゃんと保護者が一緒に楽しめる絵本を選書した。 ・喜んで絵本を手にとってくださる姿を見て、この事業の大切さを感じている。	図書館
			赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	文化フォーラム春日井 実施回数：20回 参加者数：328人 西部ふれあいセンター 実施回数：11回 参加者数：115人	・事業の名称からか、対象年齢より小さいお子さんの参加が多い。 ・名称を検討するなどし、もう少し広い年齢に参加を促していきたい。 ・新型コロナウイルス感染防止対策として、定員の設定、検温や手指消毒等を行った。また、会場が和室の場合は、ウレタンマットを敷き、参加者間の距離の確保が分かりやすいようにした。	図書館
			赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	実施回数：12回 参加者数：154人（子ども77人、大人77人）	・コロナの影響かコミュニケーションを求めてご来館する方が多くなって来たように見えたので、ボランティアさんや参加者同士のコミュニケーションを促す声掛けを意識して開催した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			すくすく読み聞かせ会	1歳6か月から就園前までの幼児を対象に、読み聞かせを行う。	実施回数：11回 参加者数：91人	・新型コロナウイルス感染防止対策として、定員の設定、検温や手指消毒等を行った。 ・会場の床にテープ等を貼り、参加者間の距離が確保できるようにした。	図書館
			ふれあい教育セミナー	本の読み聞かせの仕方や絵本の選び方などについて、保護者が学ぶ講座を実施するセミナー委員会に対し支援する。	実施回数：4回 参加者数：477人	・ふれあい教育セミナーの補助対象事業として本の読み聞かせの方法を学ぶ講座を挙げており、複数の委員会が実施するに至った。	文化・生涯学習課
	(2)	家読(うちどく)事業の啓発・推進【新規】	家庭に向けた情報提供	保護者等に対して読書活動の情報を提供する。	実施方法を提案しPRするチラシ「家族でやってみよう うちどく」を図書館ホームページに掲載	・関連展示やうちどく用読書ノート様式の配布等についても検討していたが実施できず、ホームページへの啓発チラシ掲載を継続した。	図書館
2 地 域 にお ける 読 書 活 動 の 推 進	(3)	児童館・公民館等における読書活動の推進	絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。	子育て広場 実施回数：16回 参加者数：451人（子ども233人、保護者218人） ※立替工事のため事業縮小	回答なし	交通児童遊園
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。	実施回数：49回 参加者数：1,318人 使用絵本：158冊	・実施場所を変更し、玩具のない小さめの部屋にしたことにより、子どもたちが身近に見てもらえるようになった。 ・使用絵本の中の1冊に定番の絵本を入れ込むことで、親子とも安心して見てもらった。	児童センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。	自由来所 参加者数：4,308組 9,018人（未就園児とその保護者）	回答なし	子育て支援センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。（対象：未就学児とその保護者）	読み聞かせ（毎週金曜日） 実施回数：28回 参加者数：延べ1,265人 一時預かり児読み聞かせ 参加者数：延べ3,568人	・絵本を通して季節を感じられるような読み聞かせ方を行った。 ・保護者が見ても、楽しめるような絵本選びを心がけた。	子育て子育て総合支援館
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。（子育てサポートキャラバン隊）	子育てサポートキャラバン隊 実施回数：121回 参加者数：3,249人（子ども1,651人、保護者1,598人）	・当日の参加者の様子を見て作品を選び、親子で楽しめるよう工夫している。	子育て推進課（旧・子ども政策課）
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：137回 参加者数：840人 会場：図書館、ふれあいセンター（高蔵寺、南部）、公民館（鷹来、坂下、中央）、グリーンパレス春日井	・新型コロナウイルス感染防止対策として、定員の設定、検温や手指消毒等を行った。 ・イスが使用できない会場においては、床にテープ等を貼り、参加者間の距離が確保できるようにした。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：36回 参加者数：297人（子ども178人、大人119人）	・併設の児童館との兼ね合いもあり、人の流れてくる時間帯とそうでない時間帯との差が激しかった。開催時間の検討が必要。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			イベントでの読み聞かせ	公民館等でのイベント開催時に、幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	中央公民館 実施回数：2回 参加者数：50人 西部ふれあいセンター 実施回数：1回 参加者数：13人	・クラフト等の遊びもあるので、手元に置いてある物に気を取られないように、読み聞かせについては、別のエリアにイスを配置する等、集中してお話を聞ける部屋作りを行った。 ・新型コロナウイルス感染症防止のため電話受付とされていたが、気軽に参加していただけるよう自由参加とすることを検討する。	文化・生涯学習課

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課	
2 地域における読書活動の推進	(4)	放課後児童クラブ等における読書活動の推進	団体貸出	施設等にまとまった冊数の図書館資料を貸し出す。	貸出実績 読書団体：20団体 3,850冊 小中学校：7校 167冊 ボランティア団体：5団体 170冊	・令和3年度よりも貸出冊数が伸びた理由として、新型コロナウイルス感染症に関する国の方針の変更に伴い、次第に読み聞かせの活動が活発になったことが考えられる。	図書館	
			本・紙芝居の読み聞かせ	放課後児童クラブにおいて、本・紙芝居の読み聞かせを行う。また、読書のできる環境を作る。	子どもの家30施設での読み聞かせ 実施回数：週に3～4日	回答なし	社会福祉協議会 (子どもの家)	
	(5)	ボランティアの活動支援	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員に、読み聞かせの研修を行う。	11月15日(火)開催 演題：子どもに絵本との素敵な出会いを 講師：杉山 喜美恵 氏 東海学院大学短期大学部幼児教育学科 教授 参加者数：47人(内ボランティア26人)	・参加者がいろいろな絵本に触れられるように、多数の絵本を用意した。	図書館	
			ボランティアのPR	ボランティアの活動を図書館内、図書館ホームページでPRする。	図書館ボランティアの活動内容を図書館内に掲示及び図書館ホームページに掲載 紹介団体数：15団体	・ホームページや館内に掲示するボランティアグループの活動において、同一の項目内の表記のゆれを整えた。	図書館	
			ボランティアとの協働	ブックスタート、赤ちゃんのためのおはなし会、すくすく読み聞かせ会、紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	ブックスタート ボランティアによる読み聞かせは見合わせ 赤ちゃんのためのおはなし会(ボランティア担当分) 実施回数：9回 参加者数：135人 すくすく読み聞かせ会 図書館職員のみで実施 紙芝居とお話を聞く会 実施回数：137回 参加者数：840人	・ボランティアと良好な関係を維持し、継続して事業を行っていききたい。	図書館	
			ボランティアとの協働	赤ちゃんのためのおはなし会、紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	赤ちゃんのためのおはなし会 実施回数：12回 参加者数：154人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数：36回 参加者数：297人 ビブリオバトル(イーアス春日井) 発表者数：6人 観覧者数：約40人	回答なし	高蔵寺まなびと 交流センター図書館	
			団体貸出	ボランティア団体等にまとまった冊数の図書館資料を貸し出す。	貸出実績 ボランティア団体：5団体 170冊 読書団体：20団体 3,850冊 小中学校：7校 167冊	・令和3年度よりも貸出冊数が伸びた理由として、新型コロナウイルス感染症に関する国の方針の変更に伴い、次第に読み聞かせの活動が活発になったことが考えられる。	図書館	
	3 学校等における読書活動の推進	(6)	幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実	絵本・紙芝居の読み聞かせ等	毎日、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うとともに、絵本の紹介をする。	実施園数：28園	別紙参照	各保育園
				幼稚園・保育園の特別団体貸出	コンテナボックス1箱分の絵本等を幼稚園・保育園に貸し出し、読み聞かせ等に活用する。	2か月間/1回 各園に絵本20冊、紙芝居4巻程度、大型絵本1冊を巡回貸出 実施園数：幼稚園(9園)、保育園(34園)、認定こども園(4園)	・絵本の更新について、各園から喜びの声が聞かれた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止として、コンテナ交換時にコンテナ内と絵本表面をクリーナーで清拭した。	図書館
				読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員に、読み聞かせの研修を行う。	11月15日(火)開催 演題：子どもに絵本との素敵な出会いを 講師：杉山 喜美恵 氏 東海学院大学短期大学部幼児教育学科 教授 参加者数：47人(内幼稚園・保育園・小学校職員21人)	・参加者がいろいろな絵本に触れられるように、多数の絵本を用意した。	図書館
幼稚園・保育園児及び保護者等に向けた情報提供				幼児と保護者向けのじどうしつだよりを定期的に発刊し、図書館で行う行事や図書の情報を提供する。	発行数：1,800部(年4回、各450部) 配付先：幼稚園・保育園・認定こども園(89園)	・6月号では、郷土の絵本『かすがいサボテンのおはなし』を紹介した。	図書館	

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課	
3 学校等における読書活動の推進	(7)	学校での読書機会の提供・充実	こどもの読書週間、読書週間事業	こどもの読書週間、読書週間期間中に読み聞かせ、読書まつり等を行う。	読書週間を設定 小学校：37校、中学校：2校 読み聞かせ、読書集会、読書まつり等を実施 小学校：26校	・小学校を中心に、多くの学校が読書週間を設定し、「読み聞かせ」「読書まつり」などの活動を行っている。 ・感染症対策のためやむを得ず中止とした学校も、できるだけ実施しようと努力していた。	学校教育課	
			読書活動推進事業の支援	学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を行う。	読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を実施 小学校：28校 多読賞を実施 小中学校：23校	・感染症対策が求められる中、児童が本に接する機会を増やすため、各校で工夫して取り組むことができている。	学校教育課	
			必読書、推薦図書を選定	必読書、推薦図書の選定を行い、学校図書館だよりなどで紹介する。	必読書・推薦図書を選定し、図書館だより・専用コーナー設置で紹介 小学校：31校、中学校：10校	・中学校でこれらの活動を行う学校が増えている。オンラインの活用も増加している。	学校教育課	
			小学生、中学生、高校生に向けた情報提供	小学生向けの児童室だより、中学生向けのTC(ティーンズコーナー)通信でおすすめ本を紹介する。	児童室だより 発行数：2,000部(年4回 各500部) 配付先：小学校(38校) TC通信 発行数：2,400部(年6回 各400部) 配付先：中学校(17校)、高校(8校)	・本の紹介だけでなく、児童室だより令和5年4月号(令和5年3月末発行)には、こどもの読書週間イベントの案内と図書館ホームページのQRコードを掲載した。	図書館	
	(8)	一斉読書を利用した読書習慣の確立と読書時間の確保	全校一斉の朝読書	始業前の全校一斉読書や、読書週間を設けて読書を行い、学校生活での読書時間を確保する。	実施校数 小学校：37校(内10校は通年実施) 中学校：15校(全校が通年実施) 始業前の時間を利用し、週1回から数回実施	・ほとんどの学校が、朝読書を実施している。特に中学校は、毎日朝読書に取り組んでいる学校が多く、読書の習慣が身についていると思われる。	学校教育課	
	(9)	授業等での読書の活用	団体貸出	小中学校等にまとまった冊数の図書館資料を貸し出す。	貸出実績 小学校6校 150冊 中学校1校 17冊	・児童の学習にタブレットが導入されてから、貸出依頼が減ったように感じている。	図書館	
			学校図書館所蔵の図書の活用	総合的な学習の時間や調べ学習、発展読書等で、学校図書館所蔵の図書の利用を促進する。	・教科書掲載本、同一作家の本紹介コーナーの設置 ・調べ学習用図書の教室貸出 ・学年ごとのコーナーの設置	・本や図鑑を活用して調べ学習をしている学校が依然多くある一方で、タブレットが導入されたことにより、調べ学習はタブレットを使う学校も増えてきている。それぞれの長所を生かした活用法を考えることが必要である。	学校教育課	
	4 市図書館における読書活動の推進	(10)	発達段階に応じた情報の提供や展示等の実施	年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和3年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト(11テーマ計282冊)」を配付済	・「学校支援おすすめブックリスト」を配付したものの、児童の学習にタブレットが導入された影響もあり、学校からの貸出依頼が減ったように感じている。	図書館
				図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内のこどもページで資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・通常ページとこどもページで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・図書館カレンダーで各種おはなし会の日程を案内 ・図書館からのお知らせで各種イベントの開催を案内 ・図書館刊行物のページで図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」等の定期刊行物がダウンロード可能	・「図書館カレンダーを見ておはなし会のために来館した」という利用者の声を聞いたので、今後も積極的に情報発信したい。	図書館
発達段階に応じた情報発信				じどうしつだより、児童室だより、TC(ティーンズコーナー)通信を作成・配布し、発達段階に応じた情報発信をする。	じどうしつだより：年4回発行 配付先：幼稚園・保育園・認定こども園(89園) 児童室だより：年4回発行 配付先：小学校(38校)、児童センター他 TC通信：年6回発行 配付先：中学校(17校)、高校(8校)	・季節感を意識した本の紹介テーマ等を設定し、利用者を楽しんでもらえるよう工夫した。	図書館	
ベストリーダー・ベストリクエスト				利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・ベストリーダーは定番の人気本が、ベストリクエストは新しい本や話題の本がランクインする傾向がある。	図書館	

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
4 市図書館における読書活動の推進	(11)	子どもが読書の楽しみに触れる機会の提供	こどもの読書週間イベント・読書週間イベント	こどもの読書週間(4月23日～5月12日)と読書週間(10月27日～11月9日)に合わせ、子ども対象のイベントを行う。	子ども向けのイベントを実施 こどもの読書週間イベント 実施期間：4月23日(土)～5月7日(土) 参加者数：138人 内容：本の福袋、図書館探検、ブラックパネルシアターとおはなし会等 読書週間イベント 実施期間：10月29日(土)～11月6日(日) 参加者数：110人 内容：ブラインドブック、あおぞらおはなし会、腹話術と楽しい手品等	・新しいイベントとして、スカイフォーラムでのおはなし会「あおぞらおはなし会」を開催し、多くの家族連れに参加していただいた。	図書館
			図書の紹介展示	テーマを決め、テーマに沿った本を展示し紹介する。	企画展示：2回 テーマ展示：8回 さぼてん！：18回	・実績のうち2回(テーマ展示「徳川家康」、企画展示「鉄道開業150周年」)は、愛知県図書館主催の県内図書館連動展示事業「@ライブラリー」に参加した。	図書館
			図書の紹介展示	テーマを決め、テーマに沿った本を展示し紹介する。	企画展示：12回 スタッフ展示：12回 書評紹介展示：随時	・子どもたちよりも、大人からの反響が大きい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			本の福袋	テーマや年齢に合わせて図書館が選書した本を袋に入れ、「本の福袋」として展示し、希望者に貸出をする。	英字新聞(古紙)の袋に本を3冊入れて展示 貸出実績：合計112袋 ・こどもの読書週間：13袋 ・夏休み：62袋 ・読書週間：19袋 ・年末年始：18袋	・夏休み期間は、令和3年度と設置場所を変えたこと、展示期間を1日間延ばしたことにより、大幅に貸出が増えた。(8袋→62袋)	図書館
			子ども司書養成講座	図書館業務や読書について興味や関心を高めるため、子ども司書養成講座を開催する。	1月29日(日)、2月5日(日)、2月12日(日)開催 対象：市内在住の小学校4～6年生 参加者数：10人	・令和3年度まで先着順で受付していたが、令和4年度は抽選制としたところ、合計で27名の申込みがあった。 ・カリキュラムとしては、令和2年度・令和3年度は感染症対策として省略したおはなし会の実践を再度追加した。	図書館
			職業体験 キッズ・ライブラリアン	図書館業務や読書について興味や関心を高めるため、ライブラリアン(司書)体験講座を開催する。	6月12日(日)開催 対象：小学3～6年生 参加者数：6人	・図書館を好きな子どもたちが継続して活動ができる仕組みづくりを考えたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			図書館見学	総合学習の一環として、図書館の見学を受け入れる。	小学校：8校 750人 幼稚園：1園 19人	・新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてきたためか、見学数が回復してきたと感じた。 ・施設説明おいて、序盤は選択クイズを、後半は質問を投げかけて、児童が興味を持てるよう努めた。	図書館
			図書館見学	総合学習の一環として、図書館の見学を受け入れる。	6校 243人	・読み聞かせ等プログラムを工夫して楽しい場所と印象付けられるよう実施した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：137回 参加者数：840人 会場：図書館、ふれあいセンター(高蔵寺、南部)、公民館(鷹来、坂下、中央)、グリーンパレス春日井	・新型コロナウイルス感染防止対策として、定員の設定、検温や手指消毒等を行った。 ・イスが使用できない会場においては、床にテープ等を貼り、参加者間の距離が確保できるようにした。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：36回 参加者数：子ども178人 大人119人	・併設の児童館との兼ね合いもあり、人の流れてくる時間帯とそうでない時間帯との差が激しかった。開催時間の検討が必要。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(12)	読書活動への奨励	読書手帳配付	読書手帳を配付し、自分の読書履歴を目にするように記載することで、読書意欲を高める。	配付冊数 読書手帳：1,362冊 (内高蔵寺まなびと交流センター図書館分49冊) おためし版：7,300冊(小学校図書館に設置)	・6月に各学校に対し、令和3年度配付分の残数調査を実施した。37校中27校から回答があり、回答校での配付率は73%であったため、配付方法に改善の余地があると感じた。	図書館・高蔵寺まなびと交流センター図書館
			小中学校読書感想文コンクール	読書感想文を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品：8,072点 優良作品：47点 佳作作品：88点 入選作品：338点	・応募数が新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに減少したものの、回復傾向が見られて安心した。 ・感想文を書くことが負担で、読書から遠ざかることがないか気がかりである。	図書館
			小中学校読書感想画コンクール	読書感想画を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品：15,795点 学校代表作品数：855点 優良作品：82点	・作品集について、優秀作品の掲載ページの原稿作成方法を見直して、効率的に準備していきたい。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
4 市 図 書 館 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(12)	読書活動への奨励	読書感想文書き方教室	読書感想文の書き方、まとめ方の講座を開催する。	7月23日(土)開催 講師：間瀬 佳子 氏 参加者数 1・2年生：20人(10組) 3・4年生：20人(10組) 5・6年生：4人	・応募者が定員に満たなかった。感想文を書くことが、読書への抵抗とならぬような工夫を考えていきたい。	図書館
	(13)	中学生・高校生等への学習機会の提供【新規】	調べ学習図書を活用	図書館所蔵の調べ学習図書を利用し、各学校で調べ学習を行う。	団体貸出利用数 小学校：6校 150冊 中学校：1校 17冊	・小学生の調べ学習でも、インターネットで情報を得るという声が聞こえてくるため、図書資料を情報源とすること、図書館で情報源となる本を探すことを薦める難しさを感じている。	図書館
			10代の未来さがし講座	中学生・高校生向けに本や読書に関する講座を開催する。	10月30日(日)開催 演題：読書の魅力 ～本の選び方と「読書ノート」の作り方～ 講師：澤田 裕之 氏 中部大学 人間力創生教育院 准教授 対象：小学5～6年生、中学生 参加者数：児童・生徒5人、保護者4人	・今回の参加者は全員小学生であった。毎年、中学生を募集することの難しさを感じる。	図書館
	(14)	ボランティア等の学習機会の提供	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員、教職員に対し、読み聞かせの研修を行う。	11月15日(火)開催 演題：子どもに絵本との素敵な出会いを 講師：杉山 喜美恵 氏 東海学院大学 短期大学部幼児教育学科 教授 参加者数：47人(内幼稚園・保育園・小学校職員21人)	・参加者がいろいろな絵本に触れられるように、多数の絵本を用意した。	図書館
	(15)	ボランティアの活動支援・育成	ボランティアのPR	ボランティアの活動を図書館内、図書館ホームページでPRする。	図書館ボランティアの活動内容を図書館内に掲示及び図書館ホームページに掲載 掲載団体数：15団体	・ホームページや館内に掲示するボランティアグループの活動において、同一の項目内の表記のゆれを整えた。	図書館
			団体貸出	ボランティア団体等にまとまった冊数の図書館資料を貸し出す。	貸出実績 ボランティア団体：5団体 170冊 読書団体：20団体 3,850冊 小中学校：7校 167冊	・令和3年度よりも貸出冊数が伸びた理由として、新型コロナウイルス感染症に関する国の方針の変更に伴い、次第に読み聞かせの活動が活発になったことが考えられる。	図書館
			図書館読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせ会等で活動するボランティアを育成する。	6月17日(金)、7月1日(金)、7月15日(金)開催 講師：樫木 輝美 氏 豊田市中央図書館 読書指導者 参加者数：9人 内5人がボランティアグループに加入	・講座受講者にボランティアグループについて興味や関心を持ってもらい、グループの活動につなげられるよう、ボランティアグループ紹介の機会を設けた。	図書館
			音訳技術講習会(初級編)	録音図書を作成するための知識・技術及びその工程を学ぶ講座を開催する。	全12回講座(5月～9月) 講師：梶田 三緒子 氏 社会福祉法人 名古屋ライトハウス 情報文化センター 参加者数：15人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度は中止したが、令和4年度は定員満員となる応募があったため、継続して需要がある講座だと感じた。	図書館
			音訳デジタル録音技術講習会	デージー図書を製作するための知識・技術及びその工程を学ぶ講座を開催する。	10月6日(木)、10月13日(木)開催 講師：梶田 三緒子 氏 社会福祉法人 名古屋ライトハウス 情報文化センター 参加者数：延べ64人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度は中止したが、令和4年度は30名以上の受講があったため、継続して需要がある講座だと感じた。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
4 市 図 書 館 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(16)	ボランティア等との協働・連携	ボランティアとの協働	ブックスタート、赤ちゃんのためのおはなし会、すくすく読み聞かせ会、紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	ブックスタート ボランティアによる読み聞かせは見合わせ 赤ちゃんのためのおはなし会（ボランティア担当分） 実施回数：9回 参加者数：135人 すくすく読み聞かせ会 図書館職員のみで実施 紙芝居とおはなしを聞く会 実施回数：137回 参加者数：840人	・ボランティアと良好な関係を維持し、継続して事業を行っていきたい。	図書館
			ボランティアとの連携	図書館事業の企画等について、意見交換会等をおし、ボランティア団体と定期的に情報交換を行う。	・ボランティア意見交換会 1回目：8月28日(日) 図書館からの報告のみ実施 2回目：2月26日(日) 12団体14人出席 ・こども読書週間、読書週間のイベントに協力 ・デージー図書・点字図書の製作や対面読書を実施	・図書館の事業はボランティアの協力なしには成立しないものもあるため、ボランティアの方に気持ちよくイベント等を実施していただけるよう努めていきたい。	図書館
	(17)	中学生・高校生の意見聴取	ティーンズ世代向けアンケート	中高生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	・ティーンズコーナーに投稿ポストを設置し、意見等を常時受付 ・10代の未来さがし講座受講者にアンケートを実施	・アンケート結果によると、TC通信の認知度が低いようである。今後も意見を聴取しながら、ティーンズコーナーとティーンズ向け資料をPRしたい。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標II 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課	
5 市 図 書 館 ・ 図 書 室 の 整 備 ・ 充 実	(18)	市図書館・図書室の資料の充実	計画的な図書購入	各図書館・図書室の間で隔たりが出ないよう、一定の割合で新しくなるように、計画的な図書の購入を図る。	購入数・購入費 図書館 7,358冊 15,161,418円 高蔵寺まなびと交流センター図書館 4,106冊 7,936,687円 図書室9室 4,268冊 7,239,294円 合計 15,732冊 30,337,399円	・児童書に関しては、人気の絵本・児童書が古くなってきていることを踏まえ、複本購入をし、汚損本を中心に除籍を行った。	図書館	
	(19)	レファレンスサービスの充実	図書館のレファレンス	図書館資料の問い合わせに対し、適切な支援を行う。	530件	・令和3年度から150件増加した。新型コロナウイルス感染症の流行によって離れてしまった利用者が、少しずつ戻ってきているように感じる。	図書館	
	(20)	ホームページの充実	図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内のこどもページで資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・通常ページとこどもページで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・図書館カレンダーで各種おはなし会の日程を案内 ・図書館からのお知らせで各種イベントの開催を案内 ・図書館刊行物のページで図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」等の定期刊行物がダウンロード可能		・「図書館カレンダーを見ておはなし会のために来館した」という利用者の声を聞いたので、今後も積極的に活用して情報発信したい。	図書館
			インターネット予約	来館することなくパソコンや携帯電話から図書館資料を予約できるサービスを行う。	7月1日（金）から視聴覚資料のインターネット予約を開始 予約件数：175,593件（視聴覚資料含む。）	・インターネット予約件数が、令和3年度から約28,000件増加した。年々ウェブサービスを利用する人が増えていると思われる。	図書館	
			ベストリーダー・ベストリクエスト	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・ベストリーダーは定番の人気本が、ベストリクエストは新しい本や話題の本がランクインする傾向がある。	図書館	
	(21)	ティーンズコーナーの充実	ティーンズコーナー	中高生のニーズに合った図書館資料を児童書、一般書から選びティーンズコーナーに配架する。	蔵書数：5,434冊	・ティーンズコーナーとティーンズ向け図書のPRのため、テーマ展示を実施した。	図書館	
			ティーンズコーナー	中高生のニーズに合った図書館資料を児童書、一般書から選びティーンズコーナーに配架する。	蔵書数：6,110冊	・資料があるだけでは効果が薄いので、来てもらうきっかけづくりをしていきたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館	
			TC（ティーンズコーナー）通信の発行	TC通信で、中高生におすすめ本の紹介をする。	発行数：2,400部（年6回 各400部） 配付先：中学校（17校）、高校（8校） 令和5年5月号から現役高校生による本の紹介コーナーを新設することとした。	・館内で多くの利用者に見てもらえるように、3階エレベーターホールに掲示をした。	図書館	
	(22)	障がいのある子どもへのサービスの充実	障がい児向けの図書の提供	録音図書、点字図書、大活字図書、LLブック等の貸し出しを行う。	作成数 デージー図書：39種 点字データ：70種 貸出実績 録音図書：62回 点字図書：58回 大活字本：13,641回 LLブック：57回	・デージー図書や点字図書の製作する際の選書の幅を広げるため、障がい児やその保護者の読書に対するニーズを把握する方法を考えていきたい。	図書館	
			やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・トップページだけではなく、通常の利用案内のページにもやさしい日本語による利用案内のファイルに掲載した。	図書館	
	(23)	外国語資料等の収集と情報提供	外国語資料の収集	子ども向け外国語資料の収集、貸し出しを行う。	蔵書数 外国児童書：548冊 外国絵本：2,185冊 購入数 23冊	・児童洋書の販売があれば、積極的に収集した。	図書館	
			やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・トップページだけではなく、通常の利用案内のページにもやさしい日本語による利用案内のファイルに掲載した。	図書館	



第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標II 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
5 の 市 整 備 書 館 ・ 充 実 図 書 室	(24)	子どもや子育て世代向けのコーナーの充実【新規】	読み継がれる絵本コーナーの充実	読み継がれる絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	所蔵タイトル数：240タイトル 貸出回数：7,361回	・令和4年3月に所蔵タイトルを追加したため、7月に所蔵本リストを更新し再配布した。	図書館
			読み継がれ絵本コーナーの充実	読み継がれ絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	所蔵タイトル数：132タイトル 貸出回数：3,315回	・定期的に見直し、入れ替えが必要。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(25)	読み聞かせ動画の配信【新規】	読み聞かせ動画の配信	「春日井のむかし話」の読み聞かせ動画を配信する。	14タイトル配信継続中	・新型コロナウイルス感染対策が緩和されたことにより、読み聞かせ会の制限も撤廃してきたことから、読み聞かせ動画制作の必要性を再度検討する必要があると考える。	図書館
(26)	電子書籍についての調査研究【新規】	電子書籍導入についての調査研究	電子書籍を導入した場合の有効性等について調査研究する。	電子書籍導入済の図書館を視察した。 7月6日（水）名古屋市鶴舞中央図書館 7月8日（金）小牧市中央図書館	・電子書籍を導入したことによるメリット・デメリットについて直接話を伺うことができたのは非常に良かった。	図書館	
6 学 校 図 書 館 の 整 備 ・ 充 実	(27)	読書を楽しめる学校図書館の環境づくり	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	魅力的な掲示物の作成（おすすめ本、新着本の紹介等）、紹介したい本の展示方法の工夫 小学校：32校 中学校：9校	・令和3年度に比べてかなり増加した。感染症対策による活動制限の緩和も影響していると考えられる。	学校教育課
			学校図書館運営の支援	学校図書館ボランティア等の協力により、図書の貸出・返却業務や配架、本の修繕を行う。	新刊本の装備、図書の整理、図書の修繕、廊下の掲示物作成 小学校：22校 中学校：1校	・令和3年度に比べ、小学校では微増したが、中学校で減少した。	学校教育課
(28)	計画的な図書の整備	学校図書館整備事業	すべての学校図書館図書標準の充足の率が100%となるよう計画的に図書を整備する。	図書充足率 小学校：100%以上22校、100%未満15校 中学校：100%以上9校、100%未満6校 図書購入数 小学校：10,917冊 中学校：5,781冊 蔵書数 小学校：370,578冊 中学校：211,242冊	回答なし	教育総務課	
相 互 及 び 図 書 館 等 の 学 校 連 携 等	(29)	家庭・地域と学校図書館の連携	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	魅力的な掲示物の作成（おすすめ本、新着本の紹介等）、紹介したい本の展示方法の工夫 小学校：32校 中学校：9校	・令和3年度に比べてかなり増加した。感染症対策による活動制限の緩和も影響していると考えられる。	学校教育課
			読書活動推進事業の支援	学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を行う。	読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を実施 小学校：28校 多読賞を実施 小中学校：23校	・感染症対策が求められる中、児童が本に接する機会を増やすため、各校で工夫して取り組むことができている。	学校教育課
			必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などで紹介する。	必読書・推薦図書の選定し、図書館だより・専用コーナー設置で紹介 小学校：31校 中学校：10校	・中学校でこれらの活動を行う学校が増えている。オンラインの活用も増加している。	学校教育課
	(30)	市図書館と学校等の連携	団体貸出	小中学校等にまとまった冊数の図書館資料を貸し出す。	貸出実績 小学校：6校 150冊 中学校：1校 17冊	・児童の学習にタブレットが導入されてから、貸出依頼が減ったように感じている。	図書館
		年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和3年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト（11テーマ計282冊）」を配付済	・「学校支援おすすめブックリスト」を配付したものの、児童の学習にタブレットが導入された影響もあり、学校からの貸出依頼が減ったように感じている。	図書館	

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和4年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和4年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
相 7 互 家 及 庭 び 図 図 書 書 地 館 域 等 の 学 校 連 携 等	(30)	市図書館と学校等の連携	リサイクル本の活用	図書館で除籍になった本を学校図書館等で有効利用する。	リサイクル会を実施した。 日時：1月25日（水） 参加者：小学校：3校 幼稚園・保育園・認定こども園：15園 民間児童クラブ等：7団体 提供数：552冊	・小学校の先生方が忙しくなる学期末を避けて実施した。 ・民間の児童クラブ始め子育て支援に関わる団体に広く声かけを行った。	図書館
	(31)	市図書館と図書室の連携	図書室巡回	身近な図書室で図書等の貸出・返却ができるよう、毎週火・木・土曜日に図書館と図書室を巡回し、図書等の搬送をする。	巡回日数：155日	・搬送時の個人情報漏洩のリスクをなくすため、システム改修を実施し、6月から予約移送票の内容を変更した。	図書館
			図書館と図書室の情報交換	定期的に各図書室担当者と利用方法などの情報交換する。	・グルッポふじとう図書館連絡調整会議：月1回開催 ・事務担当者連絡会議：4月20日（水）、6月22日（水）に開催	・令和4年度は、予約取置票・移送票の内容変更と、視聴覚資料の予約サービス開始の2つのシステム改修を行ったため、説明のために図書館図書室事務担当者連絡会議を2回開催した。	図書館
(32)	他公立図書館等との連携	他公立図書館等との連携	他公立図書館や大学図書館との情報交換や図書等の相互貸借等とおして連携する。	相互貸借 借受：1,015件 1,886冊 貸出：1,149件 1,605冊 遠隔複写依頼件数：8件	・当館は、県内の公共図書館の中でも借受・貸出ともに多いようである。	図書館	

別紙 気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど（保育園分）

園名	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど
第一保育園	・絵本の読み聞かせは、子どもの成長、発達を促す大切な活動であると保育士が意識し取り組んでいる。
第二保育園	・子どもたちに人気の絵本を展示し紹介したり、絵本を通して発展した遊びの様子をドキュメンテーションにして配信し保護者にも絵本のおもしろさを伝えていく。
第三保育園	・園庭で見つけた昆虫や草花など、すぐに調べられるよう戸外のテラスに絵本ラックを置き、好きな時に見られるようにしている。
西部保育園	・様々なジャンルの絵本に触れられるようにしたことで、子どもたちの興味の幅が広がった。 ・絵本で見たことを実践することで、より絵本への興味関心が高まった。
桃山保育園	・絵本を通して、子どもと保育士との関係がより深まったり、子どもの遊びが広がるのを実感している。 ・絵本は子どもと一緒に物語やコミュニケーションを楽しむことができる優れた物だということも職員間で共有し、日頃の保育の中で子どもが絵本に触れられる機会をたくさん持てるよう取り組んでいる。
玉川保育園	回答なし
高座保育園	休園
出川保育園	・子どもが自由に絵本を選んで読むことができるよう絵本棚や絵本の置き方を工夫した。 ・絵本の中のイメージから遊びが広がっていくよう環境を整えたり、きっかけ作りをした。
坂下南保育園	・月刊絵本や子どもの興味、関心を持った内容は、自然に遊びの内容へとつながっていった。 ・ストーリーを大切に、間の取り方、声のトーンに変化を持たせながら話の世界を楽しめるように工夫した。 ・多くの子どもが好きなものについて図鑑を用意すると、繰り返し見て楽しむ姿があった。
坂下北保育園	回答なし
外之原保育園	・子どもの興味関心や季節に合わせた内容の本を用意することで、子ども自身が手に取って見たり、みんなで一緒に見たりする経験を通して様々な遊びに発展していくよう工夫した。
上八田保育園	・子どもたちは絵本を読み聞かせてもらうことが大好きで、保育士が本を持ってくると、自然とその場に寄ってくる。 ・絵本は子どもの興味関心を広げ、疑似体験ができる大事なツールであることを実感している。
松原保育園	・昔話を読む機会が保育園でも家庭でも少なくなってきたのを感じ、昔話を絵本等を通して親しみながら、素話の実践も行った。 ・子どもたちの中に昔話が浸透してきているので、今後もいろいろな絵本に興味・関心が持てるように読み聞かせの機会を多く取り入れていきたい。
白山保育園	回答なし
勝川北部保育園	・日常生活の中で子どもたちが興味を持ったものを絵本や図鑑ですらに関心を深められるようにしておくことが大切だと感じた。 ・絵本の読み聞かせを一緒に楽しむことで、子ども同士でイメージを共有することができ、その後の遊びの発展に繋がることが分かった。
牛山保育園	・目につくように並べたり、戸外など調べたい時にすぐに手に取れる環境にしたことで、虫を捕まえ、調べる子が増えたように思う。
藤山台保育園	・絵本に描かれていた遊びに興味を示し、真似する姿があった。同じ遊びができるように、虫探しや水遊び、泥遊びのコーナーをつくり充実させた。
小野保育園	・子どもの興味のあるものを繰り返し楽しんだ。
味美保育園	・各年齢の発達段階に合ったものを選び、理解しやすく親しめる内容を心がける。 ・テラスに図鑑を置いたり、季節に合わせて本を入れ替えたりし、子どもの興味のある時に近くに本や図鑑がある環境を作った。
神領保育園	・子どもの興味、関心のある内容や季節に応じたものを用意し、子どもが見たいタイミングで自由に読めるようにしたことで、更に絵本に親しみを持つようになった。
岩成台保育園	・歌に合わせてページをめくるCD絵本を利用するとより興味をもって見ていたので、活用して楽しめるようにした。 ・気に入った絵本は繰り返し読み、自然と遊びの中にごっこ遊びを取り入れていた。
前並保育園	・絵本や紙芝居を取り入れることで、興味や関心が深まり、遊びが広がっていた。 ・図鑑がすぐ手にとれる場所にあることで、自分で調べたり、友だちと関わったりして楽しむことができた。
追進保育園	・行事や子どもの興味に合わせて読み聞かせの本を選んだ。
貴船保育園	・季節や子どもたちの興味に合わせて絵本を選び、子どもが自ら手にとって親しむことができるようにするには、保育士が意図的に環境を整えていくことが大切だと感じた。
下津保育園	回答なし
柏原保育園	回答なし
大手保育園	・図鑑を購入し、興味をもったものをさらに深く調べられるようにした。 ・年長児が、自分で選んだ本をじっくりと読めるような環境と本の選定について工夫していけるとよいと感じた。
瑞穂保育園	・紙芝居は声に抑揚をつけて演じるように話す。 ・絵本は質問や絵の説明などを入れて話を中断しないようにする。 ・年齢に合った内容、文字の量で選ぶ。
柏原西保育園	回答なし

### 3 施策の体系

